

September 2, 2020

【前日の為替概況】ユーロドル、FRBのゼロ金利長期化観測で1.2011ドルまで続伸

1日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは3営業日ぶりに反落。終値は1.1912ドルと前営業日NY終値(1.1936ドル)と比べて0.0024ドル程度のユーロ安水準。NY勢が本格参入すると1.2000ドルの節目突破を狙った仕掛け的なユーロ買い・ドル売りが強まり、1.2011ドルと2018年5月2日以来約2年4カ月ぶりの高値を付けた。市場では「米連邦準備理事会(FRB)が先週、ゼロ金利政策を長期化させる新たな指針を発表したことで、ドルの先安観が強まっている」との指摘があった。8月米ISM製造業景気指数が56.0と予想の54.6を上回り、1年9カ月ぶりの高水準を記録したこともユーロ売り・ドル買いを促し、1.1902ドルと日通し安値を更新した。米商品先物取引委員会(CFTC)が前週末発表した8月25日時点の建玉報告によると、シカゴ・マーカントイル取引所(CME)の通貨先物市場で非商業部門(投機筋)のユーロの対ドル持ち高は21万1752枚の買い越しと過去最大となり、市場では「過熱感」を指摘する声も出ている。

ドル円は小幅続伸。終値は105.96円と前営業日NY終値(105.91円)と比べて5銭程度のドル高水準。良好な米経済指標を受けてドル買い戻しが先行すると、前日の高値106.10円を上抜けて一時106.15円まで上値を伸ばした。ただ、米10年債利回りが低下に転じたため、ドルの上値は重かった。

ブレイナードFRB理事は「最大雇用の実現とインフレ率を長期的に平均2%とする目標を達成するために、必要な緩和を提供することが重要」「FRBの金融政策が安定化から緩和にシフトすることが重要」との考えを示した。

ユーロ円は反落。終値は126.21円と前営業日NY終値(126.41円)と比べて20銭程度のユーロ安水準。ユーロドルの上昇につれた買いが先行し、127.08円と19年3月1日以来1年半ぶりの高値を付けたものの、ユーロドルが一転下落するとユーロ円にも売りが出て、126.14円と日通し安値を更新している。

【本日の東京為替見通し】ドル円、FRBゼロ金利長期化とアベグジット警戒で上値が重い展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、米連邦準備理事会(FRB)による「2%平均物価目標」を受けた低金利政策の長期化観測と安倍首相の辞任によるアベノミクス終了(アベグジット(ABEXIT))への警戒感から上値が重い展開が予想される。

ドル円は、27日のジャクソンホール会合でのパウエルFRB議長の「2%平均インフレ目標」の導入表明を受けて、9月15-16日の米連邦公開市場委員会(FOMC)でフォワードガイダンスの強化や量的金融緩和の拡大観測が高まっていることによるドル売り圧力が上値を抑えている。パウエルFRB議長は、FRBの2つの使命デュアルマנדート(雇用最大化と物価安定)の内、「雇用最大化」を重視する新戦略を打ち出したことで、今週末4日に発表される米8月雇用統計を受けた9月15-16日のFOMCへの警戒感が、ドルの上値を重くする展開が予想される。

安倍首相の辞任表明は、アベノミクス(日本株買い・円売り)終了(アベグジット)懸念で、円買い要因となることで、ドル円は105.20円まで下落した。しかし、菅官房長官の総裁選出馬意向を受けて、アベノミクス路線の継承となる「スガノミクス」期待から、ドル円は下げ渋る展開となっており、9月14日の自民党総裁選に向けて、予断を許さない状況が続くことになる。アベノミクスの「3本の矢」(大胆な金融緩和・機動的な財政出動・成長戦略)の「大胆な金融緩和」に関しては、政府・日銀の共同声明があることで、黒田日銀総裁による量的金融緩和政策は任期の2023年4月まで継続することが予想される。

ユーロドルは、FRBのゼロ金利政策長期化観測を受けて、1.2011ドルまで上昇した。しかし、8月のユーロ圏インフレ率が4年ぶりのマイナスとなる前年比▲0.2%となり、新型コロナウイルスによるデフレ圧力が確認された。欧州中央銀行(ECB)のレーン専務理事兼主任エコノミストは、ECBはインフレ目標達成の遅延をこれ以上は容認できないため、ECBには必要に応じて全ての政策措置を調整する用意がある、と述べており、来週10日の欧州中央銀行(ECB)理事会での追加緩和策に要警戒となる。

10時30分に発表される4-6月期豪国内総生産(GDP)は、前期比▲6.0%/前年比▲5.3%、と予想されている。1-3月期GDPは、前期比▲0.3%だったので、予想通りならば、2四半期連続のマイナス成長となり、リセッション(景気後退)入りとなる。しかし、オーストラリア準備銀行(RBA)は、昨日、政策金利0.25%を据え置いた後に、「景気後退は当初の予想ほど深刻ではなく、現在オーストラリアのほとんどの地域で回復が進んでいる」と楽観的な見方を示しており、ネガティブサプライズに要警戒となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 8月マネタリーベース
- 10:30 ◎ 若田部昌澄日銀副総裁、あいさつ

<海外>

- 09:30 ◎ オア・ニュージーランド準備銀行 (RBNZ) 総裁、講演
- 10:30 ☆ 4-6 月期豪国内総生産 (GDP、予想：前期比▲6.0%/前年比▲5.3%)
- 15:00 ◇ 8月英ネーションワイド住宅価格指数 (予想：前月比 0.5%)
- 15:00 ◎ 7月独小売売上高指数 (予想：前月比 0.5%/前年比 4.1%)
- 18:00 ◎ 7月ユーロ圏卸売物価指数 (PPI、予想：前月比 0.5%/前年比▲3.4%)
- 20:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数
- 21:15 ☆ 8月ADP全米雇用報告 (予想：95.0万人)
- 21:30 ◇ 4-6 月期カナダ労働生産性指数 (予想：前期比 6.5%)
- 22:05 ◎ ベイリー英中銀 (BOE) 総裁、ラムスデン BOE 副総裁、プリハ英中銀金融政策委員会 (MPC) 委員、講演
- 23:00 ◎ 7月米製造業新規受注 (予想：前月比 6.0%)
- 23:00 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演
- 23:30 ◎ ブロードベント BOE 副総裁、ホールデン MPC 委員、講演
- 23:30 ◇ EIA 週間在庫統計
- 3日 01:00 ◎ メスター米クリーブランド連銀総裁、討議に参加
- 3日 02:00 ◎ バイトマン独連銀総裁、講演
- 3日 03:00 ◎ 米地区連銀経済報告 (ページブック)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

1 日 06:33 ムニューシン米財務長官

「マコーネル上院院内総務が来週新型コロナウイルス救済法案をもう一つ導入することを望んでいる」
「1兆で足りないのであれば、更に増やすことができる」
「ペロシ下院議長に新型コロナウイルスについて話し合うために連絡を取る」

2 日 00:23 メクラー・スイス国立銀行(スイス中銀、SNB) 理事

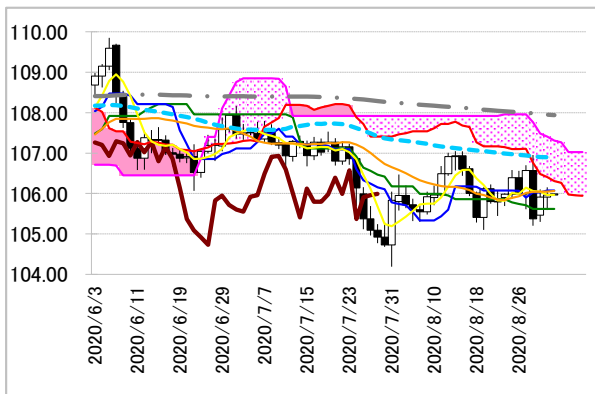
「SNB のインフレターゲットは柔軟性がある」
「デジタル・スイスフランを導入する可能性はあるが、現時点よりも安全でなければならない」

2 日 02:05 ブレイナード米連邦準備理事会(FRB)理事

「インフレの 2% 回帰はしばらく時間がかかる」
「低金利が長期間続くと金融セクターのリスクが高まる」
「FRB の政策が安定から調整へシフトすることが重要」
「米経済は不確実性に直面し、リスクは下方向」
「新型コロナウイルスは最も重要な経済的要因。財政支援の時期と規模が重要」
「5 年ごとにフレームワークを見直すことで、インフレの適切な構成期間に関する洞察を得ることができる」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

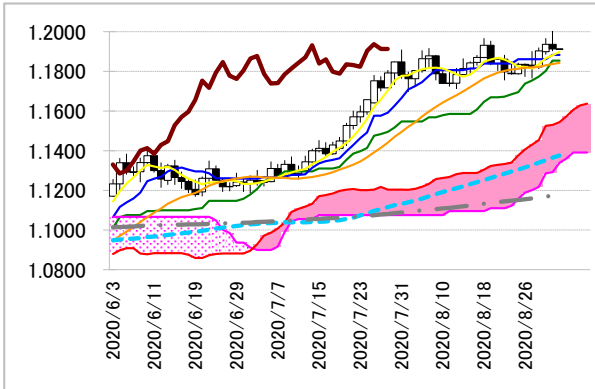


<ドル円=雲の下限線を抵抗に売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けているものの、買いシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陽線で反発しているものの、終値が28日の大陰線の実体部の中心値や転換線に届かなかったことで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	106.31(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	105.96
サポート1	105.20(8/28 安値)
サポート2	104.68(7/30 安値)

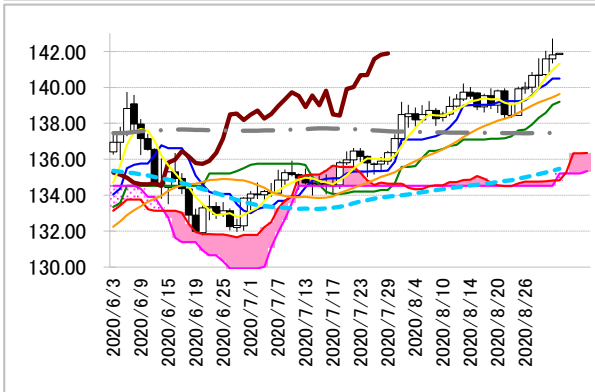


<ユーロドル=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。高値圏での孕み線で反落の可能性が示唆されているものの、転換線を上回って引けていることで、上昇トレンド継続の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.2011(9/1 高値)
前日終値	1.1912
サポート1	1.1883(日足一目均衡表・転換線)

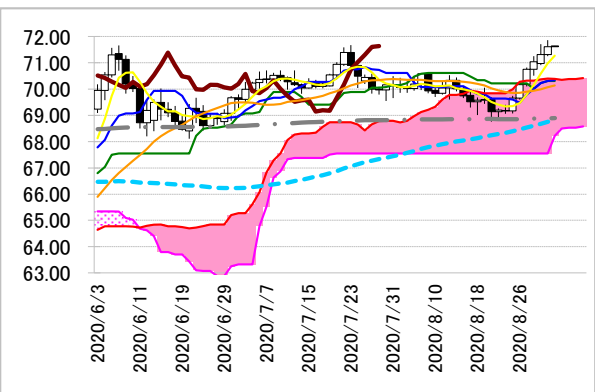


<ポンド円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。6手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	142.72(9/1 高値)
前日終値	141.81
サポート1	140.49(日足一目均衡表・転換線)



<NZドル円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。6手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	72.04(1/27 高値)
前日終値	71.61
サポート1	70.34(日足一目均衡表・転換線)

5日線	イエロー	21日線	オレンジ	90日線	スカイブルー	200日線	グレー	---	
転換線	ブルー	基準線	グリーン	先行1	レッド	先行2	ピンク	遅行	ブラウン